

(2) 立面計画

病院としての清潔感と軽快感を感じさせる立面計画

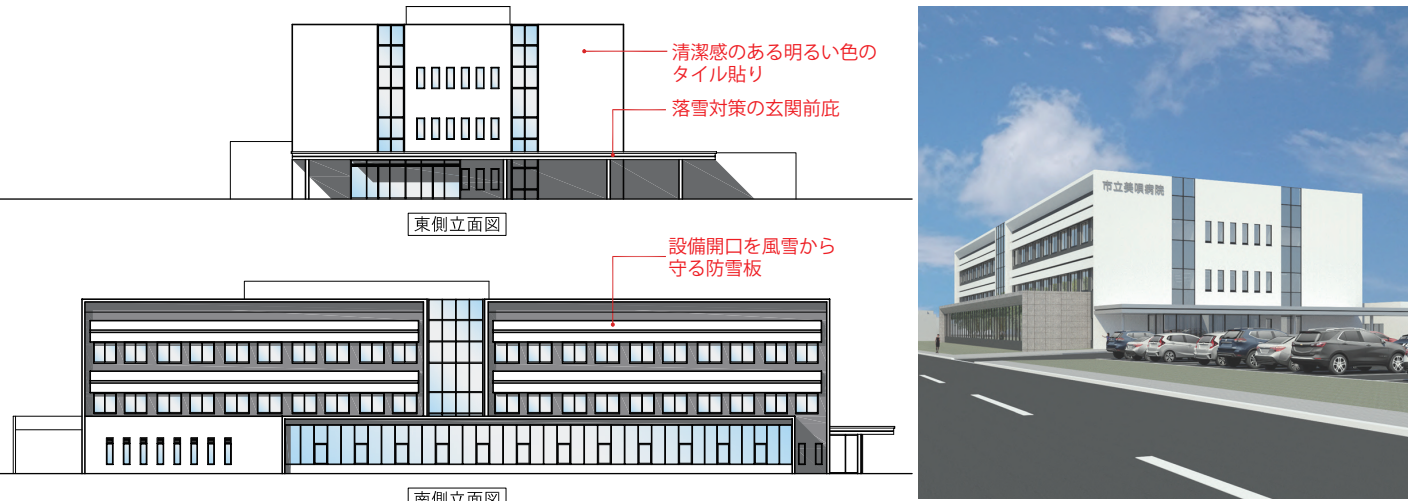
- ・外装は明るい色のタイル貼りとすることで、病院にとって大切な清潔感を感じさせる計画とします。
- ・外装材は汚れの付きにくい光触媒コーティングのタイルの採用を検討します。

厳しい自然環境に配慮

- ・開口部は断熱サッシ、アルミ樹脂複合サッシ+Low-E 複層ガラスを採用し、断熱効果を高め、外部からの熱の影響を軽減します。

長く使い続けるための配慮

- ・メンテナンスの容易なタイル貼りを採用することで、維持管理費の削減を図ります。
- ・雪庇のしやすい東側・北側の1階上部に落雪対策の庇を設けることで、歩行者の安全を守ります。



(3) 断面計画

1階

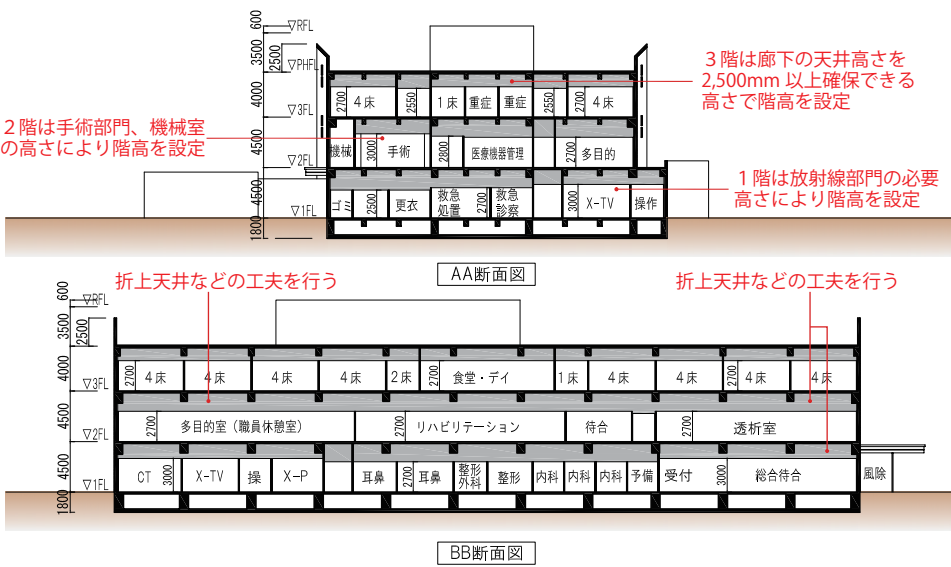
- ・放射線部門における必要な天井高さを考慮して、1階の階高は4,500mmとします。
- ・総合待合、外来待合は、折上天井を設置するなどの工夫を行うことで、出来る限り天井高さを確保します。

2階

- ・手術室の天井高さ、機械室の階高を考慮して、2階の階高は4,500mmとします。
- ・室面積の大きい透析室は折上天井を設置するなどの工夫を行うことで、出来る限り天井高さを確保します。

3階

- ・廊下の天井高さを2,500mm以上確保できる高さとして階高を4,000mmとします。



※イメージ図は基本設計時のものです。
今後、変更となる場合があります。

(4) 内装計画

明るく心安らく内装計画

- ・総合待合、各部門待合の内装には、道産材を積極的に採用し、地域性の感じられる温かみのある空間とします。
- ・1階正面玄関から入った部分（総合待合）の床仕上げは、冬期や雨天時に滑りにくく、石調もしくは木調の磁器質タイルの採用を検討します。
- ・病室や廊下等の床仕上げは、メンテナンス性が良く、転倒時に怪我をすることがないビニルシートもしくはビニルタイルを採用します。

(5) ユニバーサルデザイン計画

病院を訪れるすべての人が安心して利用できるユニバーサルデザイン

- ・「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき整備します。
- ・正面玄関の出入口幅は180cm以上とし、総合待合、外来部門へと自然に誘導されるような分かりやすいゾーニング計画とします。また、トイレ、エレベーターホールも分かりやすい位置に配置します。
- ・廊下幅は、車いすの利用者がすれ違えることができる180cm以上の幅とします。病棟階は療養環境加算の基準を満たすように、手摺の内々で270cm以上とします。
- ・各階の多目的トイレのうち最低1か所はオストメイト仕様のトイレを設置します。
- ・障がい者用駐車スペースを出入口に近接して、複数台分整備します。
- ・窓口にはハイ・ローのカウンターを適切に設置し、すべての患者が利用しやすい受付とします。
- ・案内サインは初めて来た来院者にとって分かりやすいサインとします。また、高齢者にとっても分かりやすいように、大きな文字で理解しやすいピクトや数字を採用します。

(6) セキュリティ計画

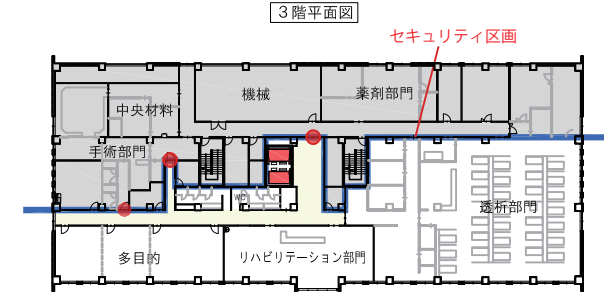
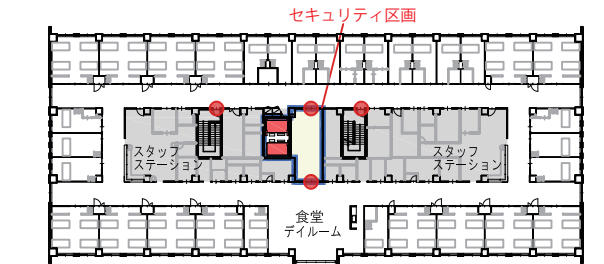
患者エリアとスタッフエリアを明確に分離し、セキュリティカードによる入退室管理を行います。セキュリティ区画により一般患者の動線を制限することで、感染症流行時には感染リスクの低減にもつながります。

< 外部出入口 >

- ・正面出入口：一般患者用（開院時間のみ）
- 西側出入口：救急・時間外（時間外は守衛室が管理）
- 渡り廊下部出入口：職員専用（カードによる管理）

< 屋内セキュリティ区画 >

- ・1, 2階は一般患者エリアと職員専用エリアの間に扉を設置し、セキュリティカードによる入退室管理
- ・3階はエレベーターホールの扉にて管理。患者家族はインターホンでスタッフを呼び出す
- ・階段室は職員専用としてカードによる管理



● カードキーによる
セキュリティ区画



※イメージ図は基本設計時のものです。
今後、変更となる場合があります。